

キリングループ 2020年10月販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリングループの10月販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

- ビール類計は、市場が対前年 93%程度と推定される中、当社は 100%となった。
- ビール計は、市場が対前年 102%程度と推定される中、当社は 117%となった。
 - ・酒税改正により、ビールカテゴリーに注目が集まったこともあり、「一番搾り」缶計は 124%と大きく前年を上回り、「一番搾り糖質ゼロ」発売で「一番搾りブランド」缶計では 184%となった。
 - ・10月6日に発売した「一番搾り 糖質ゼロ」は、発売からわずか1カ月で100万ケース[※]を達成し、年間販売目標である約120万ケースの8割を突破。販売好調を受け、年間販売目標を当初予定の約3割増にあたる約160万ケースに上方修正した。
- 発泡酒計は、市場が対前年 109%程度と推定される中、当社は 109%となった。
- 新ジャンル計は、市場が対前年 78%程度と推定される中、当社は 81%となった。

※大びん換算

カテゴリー	前年比
ビール類計	100%
ビール計	117%
発泡酒計	109%
新ジャンル計	81%
RTD計	124%

2. メルシャン社

- 「おいしい酸化防止剤無添加ワイン」など、家庭用の国内製造ワインの販売が比較的好調だった。

カテゴリー	前年比
ワイン合計	89%
国内製造ワイン計	99%
輸入ワイン計	80%

3. キリンビバレッジ社

- 昨年10月に発生した自然災害によるミネラルウォーターの出荷増の裏返しなどもあり、対前年 80%で着地した。
- 生茶は、9月発売の新商品「生茶 ほうじ煎茶」の好調が寄与し、対前年 100%となった。
- プラズマ乳酸菌配合の「iMUSE」ブランドは、対前年 170%以上と伸長した。

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	80%

以上